

# ハート・オブ・ゴールドと カンボジア教育・青年・スポーツ省が 目指すカンボジアの体育科教育

特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド 事務局長 西山直樹 氏

火曜午餐会 7月第1例会を4日、当部5階大会議室にて開催。講師に特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド事務局長の西山直樹氏を講師にお招きした。西山氏は神奈川県出身、カリフォルニアサンディエゴ州立大学を卒業後、青年海外協力隊としてパラグアイに赴任。帰国後はJICAでの勤務を経て、オリンピックメダリストであるマラソンランナー有森裕子氏の立ち上げた「ハート・オブ・ゴールド」に入職し、現在は理事、事務局長、東南アジア事務所長として、体育科教育を通してカンボジアの子どもたちに幅広い支援活動を行っている。

## 【ハート・オブ・ゴールドとの出会い】

最初に私自身の自己紹介をした。1980年に生まれ神奈川県で育った。小学校6年生の時、ユニセフ親善大使の黒柳徹子さんの番組で内戦地域の状況を知った。ある女の子が人形に仕掛けられた爆弾で命を落としたというニュースは平和な日本にいる私には想像できないことだった。世界の子どもたちを継続的に救うには英語が必要だと感じ、中学、高校と英語を勉強し、国際協力について学ぶためアメリカに渡った。大学卒業後は青年海外協力隊で途上国の人と仕事をし、サッカーや運動会のスポーツイベント開催に取り組んだ。帰国後はJICAの国内業務を経て「ハート・オブ・ゴールド」に就職することを決めた。

## 【ハート・オブ・ゴールドとは】

バルセロナ五輪銀メダル、アトランタ五輪銅メダル獲得の有森裕子氏が代表理事として1998年に設

立した組織。被災地や紛争及び開発途上国の子どもたち、障がい者、貧困層の人々に対して実施するスポーツや教育、その他の活動が、人生にチャレンジするための「希望と勇気」を持てる機会を創ることを目的とする。

## 【ハート・オブ・ゴールドが展開するカンボジアでの活動】

1996年有森裕子氏が第一回アンコールワット国際ハーフマラソンに参加した時、カンボジアは1979年に終結した内戦から、復興を遂げている状況だった。人々が希望と勇気を持つためにスポーツや教育を通じた活動が必要と考えアンコールワット国際ハーフマラソン運営支援を開始した。現在は4つの事業を進めている。

- ① 体育科教育支援事業
- ② 障がい者陸上支援
- ③ New Child Care Center
- ④ H G (ハート・オブ・ゴールド) ももたろう

日本語学校

私はこの中で体育科教育支援事業をメインに活動している。

2001年に日本からスポーツ指導者を送り、2006年からカンボジアの小学校の体育科教育支援が開始された。それまでカンボジアの子どもたちは「クメール体操」という音楽もリズムも無い体操をやっていた。そこで、知識、技能、態度、協調性を高めるために体育の学習指導要領が新しく作成された。バランスを学ぶために平均台が取り入れられたり、マフラーをつなげてぶらさがる運動が実施されたり、協調性を身につけるため



バスケットゴールを自前で作ってのボール運動が実施されたり等、体育の授業が改善されていった。カンボジアの教育省だけでなく、州・郡教育局、学校の校長や先生とも一緒に取り組んでいった。

小学校の取り組みをさらに発展させるために、中学校へ展開していった。さらに高校では伝統的スポーツ、武道、水泳、野球なども教えられる仕組みになっている。しかし先生たちが主体的に動いてくれないと進めることができないため、ワークショップを通して体育をわかりやすく説明したり、実際に日本の教育現場を見てもらったりして、カンボジアの先生が主体的に動いてくれるよう働きかけた。全国の教員に対しては上から目線ではなく、パートナーでありフランクな関係の方がいい。2021年からは、高等学校の指導書が作成され、プノンペン都、バタンバン州、スヴァイリエン州のすべての小・中・高等学校に体育教育の普及を進めている。プノンペンでは人工芝のグラウンドがある学校もあるが、地方ではグラウンドが荒れていて、コンクリートのところもある。カンボジアは雨が多いため、企業からの支援を受けて雨天でも大丈夫な体育館を建設する等の取組も実施している。

2019年以降、質の高い体育教育を目指し、スポーツを発展させるためには教員の養成が必要で、国

立の4年制体育大学を設立することとなった。入学して何を学ぶのか、卒業した後どんなキャリアを積んでいくのか。スイミングプールやジム・ルームの建設もしている。カンボジアの教育省としての政策として子どもたちが好きなスポーツを見つけてスポーツと関わっていけるようカンボジア体育の未来のため事業を進めている。

## 【ハート・オブ・ゴールド体育科教育支援 今後の展開】

有森裕子氏は「ハート・オブ・ゴールドがいなくなる」が結果的にカンボジアの自立を促すことだと言っている。ハート・オブ・ゴールドの活動がしっかりカンボジア側に引き継がれ、子どもたちに届くことを願っている。体育科教育の普及で、教育・青年・スポーツ省、都・州・郡教育局、学校が三位一体となった自立に向けた支援を継続していく。そして、カンボジアでの経験を生かして、ラオスへの支援も視野に入れている。

「ハート・オブ・ゴールド」を支援して下さる会員を募集しています。12月には世界遺産を走れるアンコールワット国際マラソンも開催され、有森も参加しますので、ご興味のある方は事務局へお問い合わせください。

ハート・オブ・ゴールドの活動へのご支援・ご参加をお待ちしております。

### 会員になる

個人会員：年会費 3,000円(1口)  
法人会員：年会費 30,000円(1口)  
\*会員の皆さまには、ニュースレターなどをお送りします。

### 寄付をする

活動全体への寄付に加え、各活動を指定しての寄付も承ります。

### ハート・ペアレントになる

里親：年間 42,000円(分割払可)

\*詳細はホームページから

### ●郵便振込：01300-3-11024

加入者名：ハート・オブ・ゴールド  
\*郵便局からのお振込みは、「払込取扱票」の通信欄に振込目的(会費、寄付、ハート・ペアレントなど)を明記して下さい。

### ●銀行振込

三菱UFJ銀行 岡山駅前支店  
口座番号：(普通) 0931214  
口座名：(トクヒ) ハートオブゴールド  
楽天銀行  
銀行コード：0036  
支店番号：(支店名) 202(ロック支店)  
口座番号：7013816  
口座名：(トクヒ) ハートオブゴールド

\*銀行からのお振込みは、ご連絡先を確認できません。お手数ですが、住所、氏名、連絡先、振込目的を、事務局まで必ずご連絡下さい。

ハート・オブ・ゴールド本部事務局  
〒701-1213 岡山市北区西辛川  
895-7 レジデンスアロー 101

Tel/Fax：086-284-9700  
E-mail：hginfo@hofg.org

H P  
<https://www.hofg.org>

